

5月の野菜の見通し

令和3年4月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	7,872	平年 並み	9,201	106	71%	92	0	0.0%	千葉・茨城産が温暖な気候により生育前進。4月末~5月上旬は出荷の谷間となることが予想され、相場は強まる気配。全体量は少なかつた前年より多く平年並み。見通し単価75円は高かつた前年の3割安く平年比でも2割近くの安。
はくさい	6,787	多い	6,645	105	52%	66	-	-	茨城産は生育順調ながら前進傾向。5月上旬あたりは出荷の谷間となる気配もある。下旬には長野・群馬産が増えてくる。全体量は前年・平年並み。見通し単価55円は漬物特需で高騰した前年を大幅に下回り、平年でも1割安。
キャベツ	16,771	平年 並み ~ 多い	18,065	129	62%	96	-	-	各地前進傾向あり。愛知産では冬系の切り上がりに向けての減少もあって5月上旬は不安定な出回りの気配。全体量はやや少なかつた前年並みで平年をやや下回る予想。前年はコロナ渦での家庭需要の伸びから県庁な価格だったが本年はそこまでの期待はできず。見通し単価80円は前年を大幅に下回り、平年比でも1割以上の安。
ほうれん そう	1,526	平年 並み	1,463	427	87%	430	-	-	各地生育は順調。全体量はやや多かつた前年並みで平年をやや上回る見込み。家庭消費が好調だった前年ほどの需要はなく、GW明けに数量の多さから相場弱含みとなる例年通りの展開か。見通し単価370円は平年の1割以上安。
ねぎ	3,598	平年 並み	3,650	414	101%	424	6	0.2%	茨城、千葉産が4月までは作柄不良の影響が見られたものの、5月出回り分は概ね順調な生育となっている。中国産の少なさから需要はありながらも、GW明けからは夏ねぎの増量で相場は弱含みとなる気配。全体量は前年・平年並み~微減、見通し単価420円は前年・平年並み。

5月の野菜の見通し

令和3年4月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	8,229	平年 並み	8,838	246	93%	241	42	0.5%	各地大きな問題なく、5月は関東産のほか東北産も増え始めて潤沢な出回りとなる見込み。4月下旬～GW明けにかけては増量に向けて相場下落の例年通りの流れ。その後は価格がこなれて荷動きが活発化すれば上向いてこよう。全体量はやや少なかった前年並みで平年をわずかに下回る予想。見通し単価230円は前年・平年よりやや安。
トマト	9,159	平年 並み	10,175	268	93%	272	5	0.1%	熊本・栃木・愛知産中心に生育は概ね順調で、上旬は出荷の山場となり潤沢な出回りが見込まれる。全体量は少なかった前年を上回り、見通し単価250円は前年・平年よりやや安。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果協)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)